[地区防災計画（ひな形）]

〇 〇 区

地 区 防 災 計 画

令 和 ７ 年 〇 月 〇〇 日

〇 〇 行 政 区

〇 〇 区 自 主 防 災 会

**１　基本方針**

大規模災害が発生すると、数多くの救助要請や消火活動、道路網の寸断な

どによって町役場・消防・警察などの防災機関が十分に対応できない可能性

があります。そのようなとき、力を発揮するのが「地域ぐるみの協力体制」

です。

　過去の大規模災害においても、被災者の救出に活躍したのは地域の住民の

方々でした。災害時は「自助」、「公助」とともに、地域住民の皆さんが相互

に支え合う「共助」が極めて重要であると言えます。

　私たちの行政区では、「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構え

で、地区のみんなで助け合いながら、災害に強いまちづくりを進めます。

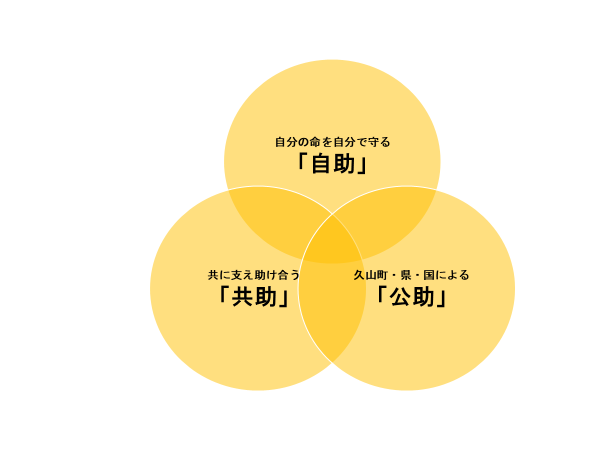
　この取り組みを計画的に推進するため、行政区住民を主体とした防災組織

を構築し、この行動の規範としての「〇〇区 地区防災計画」を定め、平常

時から災害への備えを推進し、災害時における「自助」、「共助」を着実に実

行するため、この計画に基づく施策・事業に取り組み、行政区の防災力を高

めていきます。



**１**

**２　計画対象範囲と策定主体**

(1)　計画対象範囲

　　　本計画は、久山町〇〇行政区全域を対象として定めます。

* 「〇〇区防災マップ」（P11参照）を参照

(2)　計画策定主体

　　　本計画は、〇〇区と〇〇区自主防災会（組織）が共同で定めます。

**３　行政区の特性及び対象となる事象（災害リスク）**

(1)　特　性

　　・行政区の中央に〇〇川があり、川沿いの大部分が浸水想定区域である。

　　・○○組合北側の急斜面は、土砂災害特別警戒区域に指定されている。

　　・〇〇組合～〇〇組合にわたる一帯は、古い家屋が密集している。

　　・住民の高齢化や住宅の老朽化が問題である。

(2)　対象となる事象（災害リスク）

　　　本計画においては、災害発生前の事前行動（避難）が可能である、豪

雨に起因する災害を主な対象とします。また、土砂災害や地震についても

本計画を準用することとします。

　　・豪雨や台風による〇〇川の氾濫、〇〇組合での家屋への浸水

　　・大雨や地震による〇〇付近の土砂崩れ、〇〇川での土石流

　　・地震による家屋倒壊、火災の発生

　　・暴風雨による家屋や電柱の倒壊

　　・〇〇組合は、川の増水や土砂崩れで孤立する恐れ

**４　活動目標**

〇〇区における平常時及び災害時の活動目標は下記のとおりとします。

(1)　平常時

**２**

「各種災害を想定した防災訓練、防災意識を啓発するための講習会、町な

　ど関係機関との意見交換等を継続的に行い、行政区の防災力を高めます。」

目標達成に向けて取り組むこと

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 取り組む項目 | 実施頻度・時期 | 取り組み概要 |
| 防災訓練の実施 | 年〇回（〇月） | 避難訓練などを行い、避難先や避難手順、区内の危険個所などを把握します。 |
| 防災講習会の実施 | 年〇回（〇月） | 行政区の住民に対する防災講習会を行い、防災意識（当事者意識）を涵養します。 |
| 関係機関との連携体制協議（意見交換） | 年〇回（〇月） | 町など防災関係機関と行政区が災害時の避難や避難所運営などについて意見交換し、災害時の連携・協力体制などを確認します。 |
| 地区防災計画の見直し | 年〇回（〇月） | 防災訓練などの成果を踏まえ、地区防災計画の見直しを実施します。 |

(2)　災害時

「平常時にあらかじめ定めた体制と手順に基づき、早めの避難を実現し、逃げ遅れによる人的被害の発生を防止します。」

目標達成に向けて実施すべきこと

|  |  |
| --- | --- |
| 実施すべきこと | 概　要 |
| 防災情報等の共有 | ○○〇の前兆（△△など）を発見したら直ちに行政区役員や自主防災会各班長へ報告します。 |
| 行政区の要配慮者など（避難行動要支援者）への声掛け | 町から避難情報（高齢者等避難など）が発令された場合は、隣近所の要配慮者など（避難行動要支援者）に対して避難を促す声掛けを行います。 |
| 避難誘導 | 行政区や自主防災会、行政（町）などの避難誘導の下、組合で指定した避難場所（又は避難所）へ早めに避難します。 |
| 避難所の開設・運営 | 町職員とともに避難所を開設し、運営します。 |

**３**

**５　活動内容**

(1)　平常時の活動

　　 万が一の際に行政区の防災力が発揮できるよう、行政区の全員で協力し

て防災活動に取り組みます。

ア　防災知識の普及・啓発

　　　　防災対策では、行政区住民の一人ひとりが防災に関心を持ち、「災害

に備える」ことが重要です。そのために防災知識の普及・啓発を行いま

す。

イ　行政区の安全点検

　　　　防災の基本は、自分たちの住む地区を知ることです。地区の危険な場

所や防災上問題のある場所などを確認し、改善のための働きかけを行い

ます。

　　ウ　防災資機材の維持・管理

　　　　行政区にある防災資機材を点検・整備して日頃から良好な状態に維持するとともに、使い方を練習して災害時に機材の能力を発揮できるようにします。

　　エ　災害用物資の備蓄

　　　　災害はいつ発生するかわかりません。地震、台風、洪水など、自然災

害に備えるためには、適切な備蓄が必要です。発災直後は行政（町）か

らの支援が受けられないことを想定し、飲料水や非常食、簡易トイレな

ど最低限必要な物資を行政区で備蓄するように努めます。

オ　防災訓練の実施

　　　　万が一の際、慌てず、的確に行動するために欠かせない活動です。住

**４**

民に積極的な参加を呼びかけ、年１回を基準に訓練を行ないます。

(2)　災害時の活動

　　　行政（町）や報道などから正しい情報を収集し、行政区住民に伝達しま

す。また、行政区内の被災状況や火災発生状況を取りまとめ、行政（町）

や消防・警察などの防災関係機関へ報告します。

ア　救出・救助活動

　　自分自身がケガをしないよう注意しながら、住民相互に協力して負傷

者や家屋の下敷きになった人の救出・救助活動を行います。

　　イ　初期消火活動

　　　　消防機関が到着するまでの間、火災の延焼拡大を防ぐための初期消火

活動を行います。

　　ウ　医療救護活動

　　　　医師の手当を受けられるまでの間、負傷者の応急手当を行います。

エ　避難誘導

　　　　行政区住民を避難場所など安全なところへ誘導します。

　　オ　給食・給水活動

　　　　行政区で必要な物資を把握し、行政（町）とも連携しながら、必要に

応じて炊き出しなどの給食・給水活動を行います。

(3)　要配慮者（避難行動要支援者）等への支援

　　　災害時に逃げ遅れて犠牲となることが多い高齢者など要配慮者（避難行

動要支援者）の命を守るため、行政区みんなで協力して支援を行っていき

ます。

**５**

　　ア　要配慮者（避難行動要支援者）の身になって、防災環境の点検・改善

警報や避難情報がきちんと伝えられるか、避難経路に危険な箇所や障

害物がないかなどを点検し、改善に努めます。

　　イ　避難するときは、しっかり誘導

　　　　隣近所の助け合いが重要です。一人の要配慮者（避難行動要支援者）

に複数の支援者を決めておきます。

　　ウ　困ったときこそ温かい気持ちで接する。

　　　　非常時こそ、不安な状況に置かれている被災者には優しく接する必要

があります。困っている人や要配慮者（避難行動要支援者）には、思い

やりを持って接します。

　　エ　日頃から積極的にコミュニケーションを図る。

　　　　万が一の際に円滑に支援できるよう、日頃から積極的に要配慮者（避

難行動要支援者）とのコミュニケーションを図ります。

**６**

**６　行政区の防災体制等**

(1)　防災体制

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 組織名称等 | 行政区の状況 | | | |
| 〇〇区自主防災会 | 組合数：　　　　　　　　　コ組合 | | 避難行動要支援者の数 | 人 |
| 世帯数：　　　　　　　　　世　帯 | |
| 人　口：　　　　　　　　　　人 | |
| １．組織の体制 | 役　員 | | | |
| 会　長 | 区長　〇〇 〇〇 | ☎　0X0-9999-YYYY | |
| 副会長 |  | ☎ | |
| 総務班長 |  | ☎ | |
| 情報班長 |  | ☎ | |
| 消火班長 |  | ☎ | |
| 救出・救護班長 |  | ☎ | |
| 避難誘導班長 |  | ☎ | |
| 給食・給水班長 |  | ☎ | |
| ２．避難場所等 | 施設名等 | | 住　所 | |
| 【避難場所】〇〇児童公園 | | 大字久原WWW-1 | |
| 【避難所】〇〇集会所 | | 大字久原ZZZ-99 | |
| 【避難場所】〇〇小学校グランド | | 大字山田QQQQ-2 | |
| 【避難所】〇〇小学校体育館 | |
| 【　　　　】 | |  | |
| ３．避難経路 | 〇〇区防災マップ(P11)参照 | | | |
| ４．緊急連絡先 | 久山町役場（災害対策本部） | | ☎　092-976-1111 | |
| 粕屋南部消防本部 | | ☎　092-935-5107 | |
| 中部消防署 | | ☎ 092-938-3216 | |
| 粕屋警察署 | | ☎　092-939-0110 | |
| 粕屋警察署久山交番 | | ☎　092-935-5107 | |

**７**

(2)　活動体制

自主防災会各班の役割

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 班　名 | 担当（班長） | 平常時の役割 | 災害時の役割 |
| 総務班  （本部） | 〇〇　〇〇 | ・活動の統括  ・町など関係機関との事前調整 | ・自主防災会の指揮  ・町災害対策本部との連絡  及び調整  ・被害、避難状況の把握 |
| 情報班 | 〇〇　〇〇 | ・防災意識の啓発  ・広報活動 | 防災関係機関からの情報  収集及び住民への伝達 |
| 消火班 | 〇〇　〇〇 | ・消火器材の点検・  整備  ・消火器取扱訓練 | ・消火器、消火栓などによ  る初期消火  ・消防機関の誘導 |
| 救出・救護班 | 〇〇　〇〇 | ・救出救護用資機材  の点検・整備  ・救命講習の受講 | ・要救助者の救出  ・負傷者の応急手当  ・救護所などへの搬送 |
| 避難誘導班 | 〇〇　〇〇 | ・避難経路の点検  ・要配慮者（避難行動要支援者）の支援体制の整備 | ・住民の避難誘導  ・要配慮者（避難行動要支援者）の避難支援  ・安否不明者の捜索 |
| 給食・給水班 | 〇〇　〇〇 | ・機資材・器具の点検及び整備  ・備蓄食料・飲料水などの管理 | ・飲料水、非常食などの準備及び配給  ・生活用水の確保  ・炊き出しなどの活動 |

**８**

(3)　自主防災会の連絡網

〇 〇 〇 〇

☎ 090-XXXX-XXXX

会長（行政区長）

〇 〇 〇 〇

☎ 090-XXXX-XXXX

副会長

〇 〇 〇 〇

☎ 090-XXXX-XXXX

総務班長（本部）

〇 〇 〇 〇

☎ 090-XXXX-XXXX

情報班長

〇 〇 〇 〇

☎ 090-XXXX-XXXX

〇 〇 〇 〇

☎ 090-XXXX-XXXX

消火班長

〇 〇 〇 〇

☎ 090-XXXX-XXXX

〇 〇 〇 〇

☎ 090-XXXX-XXXX

救出・救護班長

〇 〇 〇 〇

☎ 090-XXXX-XXXX

〇 〇 〇 〇

☎ 090-XXXX-XXXX

避難誘導班長

〇 〇 〇 〇

☎ 090-XXXX-XXXX

〇 〇 〇 〇

☎ 090-XXXX-XXXX

給食・給水班長

〇 〇 〇 〇

☎ 090-XXXX-XXXX

**９**

(4)　防災関係施設

　　 ア　医療機関

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 災害  拠点  病院 | 基　幹 | 国立病院機構  九州医療センター | 福岡市中央区地行浜1-8-1 |
| 粕　屋  医療圏 | 福岡青洲会病院 | 粕屋郡粕屋町大字長者原800-1 |
| 国立病院機構  福岡東医療センター | 古賀市千鳥1-1-1 |
| 町内  医療  機関 | 外　科 | 宏洲整形外科医院 | 久山町大字久原3133-1 |
| 内　科 | 宮原医院 | 久山町大字山田1684-2 |
| 志方医院 | 久山町大字久原3512-1 |
| 大国医院 | 久山町大字久原2597-7 |

　　イ　行政区内の要配慮者利用施設

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 高齢者施設 | 特別養護老人ホーム〇〇園 | 〇〇 ００００-0 |
| 〇〇デイケア | 〇〇 ００００-0 |
| 障がい者施設 | 〇〇荘 | 〇〇 ００００-0 |
| 教育施設 | 久山町立〇〇幼稚園 | 〇〇 ００００-0 |
| 久山町立〇〇小学校 | 〇〇 ００００-0 |
| 久山町立〇〇中学校 | 〇〇 ００００-0 |
| 保育施設 | 認定保育園〇〇園 | 〇〇 ００００-0 |

　　ウ　その他の関係施設

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 災害時協力  事 業 所 | トリアス久山（避難場所の提供） | 〇〇 ００００-0 |
| レイクウッド久山（避難場所の提供） | 〇〇 ００００-0 |
| 災害時協力井 戸 | 行政区内に１２カ所（〇〇組合：７カ所、〇〇組合：５カ所）  ⇒ 細部位置は、「〇〇区防災マップ」(P11参照) | |
| 福祉避難所 | ヘルスC＆Cセンター | 〇〇 ００００-0 |

**10**

(5)　保有防災資機材

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 保管場所 | 資器材名 | 保有数量 | 備　考 |
| 防災倉庫 | ヘルメット | １０ |  |
| 担架 | １ |  |
| ロープ | ３ | トラロープ(100m巻) |
| 土のう袋 | １００ | 吸水式 |
| リヤカー | １ | 組立式 |
| 誘導棒 | ６ |  |
| （シャベル） |  |  |
| （野外窯） |  |  |
| （ライフジャケット） |  |  |
| （木杭(1600mm)） |  |  |
| （一輪車） |  |  |
| （カラーコーン） |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 集会所  事務室 | ハンドマイク | ２ |  |
| 懐中電灯 | ６ |  |
| トランシーバー | ４ |  |
| ビブス（緑） | ６ |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 集会所  和　室 | 毛布 | ２０ | 防災用（真空パック） |
| 段ボールベット | ３ |  |
| 段ボールパーティション | ３ |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**11**

(6)　〇〇区防災マップ



|  |
| --- |
| 防災上、懸念される箇所など |
| ① ●●組合は道路が狭く、消防車など大型車両の進入が困難  ② ◎◎組合付近の△△川右岸は護岸が崩れており、増水時は侵食の恐れあり  ・・・・・  ⑪ ■■の空き家は、暴風や地震などで倒壊する恐れがある。 |

**12**

(7)　〇〇区の避難行動計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 警　戒  レベル | 避難のきっかけになる情報 | 避難に向けた皆さんの行動 |
| **レベル**  **２** | * 気象庁   ・「大雨(洪水)注意報」  ・「警報に切り替わる可能  　 性(高)の注意報」  ● 久山町  **・災害警戒本部を設置** | **〇 高齢者など要配慮者及びご家族（支援者）は、避難する心構えと必要な物の準備**を始めます。  〇　区長は、町災害警戒本部からの連絡を受け、自主防災会各班長に対して避難の可能性がある旨を連絡します。 |
| **レベル**  **３** | * 気象庁   ・「大雨(洪水)警報」   * 久山町   **・災害対策本部を設置**  **・「高齢者等避難」発令** | 〇　区長は、「高齢者等避難の発令、避難所の開設」を自主防災会各班長及び各組合長に連絡します。  〇　各組合長は、高齢者等の要配慮者に避難を呼び掛けます。  **〇　高齢者など要配慮者（避難行動要支援者）は、必ず避難してください。**  **〇　その他の方も身の危険を感じたら、自主的に避難してください。**  〇　区長は、避難した住民の方を把握し、災害対策本部に報告します。 |
| **レベル**  **４** | * 気象庁・県   ・「土砂災害警戒情報」  ・「氾濫危険情報」   * 久山町   **・「避難指示」発令** | **〇　避難指示の対象区域にお住いの方は、速や**  **かに避難してください。**  　⇒　気象状況や避難経路の状況などを確認し、避難の可否を判断してください。  　⇒　避難が困難な場合は、ご自宅の２階などへ垂直避難してください。 |
| **レベル**  **５** | * 気象庁   ・「大雨特別警報」  ・「記録的短時間大雨情報」   * 気象庁・県   ・「氾濫発生情報」   * 久山町   **・「緊急安全確保」発令** | **〇　この段階での避難は危険、ご自宅内で命を守る行動をとってください。**  　⇒　浸水地域では２階以上の部屋へ垂直避難  してください。  　⇒　自宅内で崖などから少しでも離れた部屋へ移動してください。 |

**13**

**７　令和〇年度の防災事業計画**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 計　画　事　業 | 実施時期 | 事　業　概　要 |
| 防災訓練 | 〇月下旬 | 避難訓練（各組合の避難場所から集会所まで徒歩で避難）及び消火訓練を行ないます。 |
| 防災講習会 | 梅雨前  (5月下旬) | 町など防災関係機関に講師の派遣を依頼し、防災講習会を開催します。 |
| 防火・防災週間 | 〇月 | 消防団と地区住民が共同で火災予防を呼び掛けるとともに、行政区内の消火栓など防災上重要な設備の点検や危険箇所の把握を行います。 |
| 町・消防団との連絡協議会（意見交換） | 〇月中旬 | 町など防災関係機関と災害時の避難や避難所運営などについて意見交換し、災害時の連携・協力体制などを確認します。 |
| 地区防災計画の見直し | 年度末 | 防災訓練などの成果を踏まえ、地区防災計画の見直しを行います。 |
|  |  |  |

**８　本計画の見直し（改定）**

この計画については、継続して管理を行い、訓練の機会や日頃の話し合い

を通じて、計画の見直しに取り組みます。

行政区の取り組みや体制の変化等に合わせて、行政区と自主防災会が協議して必要な見直しを行います。見直した内容について、説明会やチラシ等により行政区全体に周知するとともに、町に報告します。

**14」**

[自主防災会規約（ひな形）]

〇〇区自主防災会規約

(名称)

第1条　この会は、○○区自主防災会（以下「本会」という。）と称する。

（事務所の所在地）

第２条　本会の事務所は、〇〇集会所に置く。

（目的）

第３条　本会は、行政区住民の隣保協同の精神に基づく自主的な防災活動を行うことのより、地震、風水害、その他の災害（以下「災害」という。）による被害の防止と軽減を図ることを目的とする。

（事業）

第４条　本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

（１）防災の関する知識の普及・啓発

（２）災害予防に資するための行政区内の災害リスクの把握

（３）防災訓練の実施

（４）災害発生時の情報収集・伝達、避難誘導、初期消火などの応急対策

（５）災害備蓄品や防災資機材などの整備

（６）その他本会の目的を達成するために必要な事項

（会員）

第５条　本会は、〇〇行政区の各組合に加入する世帯をもって構成する。

（役員）

第６条　本組織に次の役員を置く。

（１）会長　　１名

（２）副会長　１枚

１

（３）班長　　６名

（４）会計　　１名

（５）監事　　２名

２　会長は行政区長、副会長及び班長は行政区役員を持って充て、会計及び監査は会長が指名する。

３　役員の任期は２年とする。ただし、再任することができる。

（役員の任務）

第７条　会長は、本会を代表し、会務を総括する。災害発生時は応急対策の指示を行う。

２　副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を行う。

３　班長は、会務の運営にあたるほか、班活動の指示を行う。

４　会計は、本会の会計事務を行う。

５　監事は、本会の会計を監査する。

（会議）

第８条　本会に、総会及び役員会をおく。

２　会議においては、会長がその議長となる。

（総会）

第９条　総会は、全会員をもって構成し、毎年１回、行政区総会と同時に開催し、特に必要がある場合は臨時にこれを開催することができる。

２　総会は会長が招集する。

３　総会の議決は、出席会員の過半数で決するものとし、可否同数のときは議長の決するところによる。

４　総会は、次の事項を審議する。

（１）規約の改正に関すること。

（２）地区防災計画の作成及び改正に関すること。

（３）事業計画に関すること。

（４）予算及び決算に関すること。

（５）その他、総会が特に必要と認めたもの。

５　総会は、その付議事項の一部を役員会に委任することができる。

２

（役員会）

第10条　役員会は、会長、副会長、班長及び会計をもって構成する。

２　役員会は、次の事項を審議し、実施する。

（１）総会に提出すべきこと。

（２）総会より委任されたこと。

（３）その他、役員が特に必要と認めたこと。

（地区防災計画）

第11条　本会は、第４条に定める実施するための地区防災計画を作成する。

２　地区防災計画に定める事項は、役員会において定めるものとする。

（会費等）

第12条　本会の会費及び運営に要する経費は、行政区費その他の収入をもってあてる。

（会計年度）

第13条　会計年度は、毎年４月１日に始まり、翌年３月３１日に終わる。

（会計監査）

第14条　会計監査は、毎年１回監事が行う。ただし、必要がある場合は、臨時にこれを行うことができる。

２　監事は、会計監査の結果を総会に報告しなければならない。

（その他）

第15条　この規約に定めのない事項については、役員会で協議して定める。

附則　この規約は、令和〇年〇月〇日から実施する。

３」